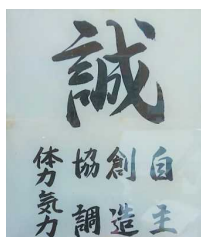




令和4年度 学校便り  
**与論中だより**  
 令和4年4月8日 与論町立与論中学校

校訓	誠
協力	自
体気力	調造主



校訓『誠』

夢と目標をもって  
 「自覚」と「自信」

「島だち」へ

校長 徳重 正宏



令和4年度は52人が本校に入学し、第2学年60人、第3学年58人、合計170人でスタートしました。入学式は、コロナウィルス感染症防止対策を講じながら、例年と近い形で実施することができ、嬉しく思います。

新1年生の平田一期さんの新入生代表の誓いの言葉に中学校生活への大きな期待と、学習内容が難しくなる不安な思いを持ちながらも、一生懸命取り組んでいきたいという気持ちと、しっかりと伝わる内容でした。また、新入生全員の様子もしっかりと話を聞いており、緊張感のある凛とした姿で式に出席していた態度が大変立派で、これからはとても楽しみになりました。

さて、私は本年の入学式と始業式で次のことを話しました。1つ目は、校訓である「誠」についてです。これは、自分に恥じることなく何事にも誠実に、精一杯、努力する姿勢で事にあたりに、与論を誇れる人物になってほしいという話です。

2つ目は、夢や目標を持って、計画的に一つ一つ実践し、乗り越えてほしいということです。そして、挑戦し続ける限り、失敗はなく、途中過程であり、課題解決を求めての自己成長であると話しました。

3つ目は、「自覚をもって校門に入り、自信をもって校門を出る」という言葉の実践をお願いしました。学校に通い、何かを得、今の自分より一つ上の自分を創り出してほしいということです。

中学生時代は、自我が芽生える多感な時期で、いろいろな感情を育みながら大人的な感覚も学ぶ時期です。そのような時期に合って、与論の子どもたちは、近い将来、「島だち」していくものと考えれば、上の3つはいずれも身に付けてほしい力です。

自分自身を磨き輝かせ、与論に誇りをもち、どの地でも、どのような環境でも自信をもって活躍できる生徒の育成を目指して、与論中学校の全職員で努力して参ります。

**学校教育目標**

「未来の創り手となる生徒の夢実現に向けて、確かな学力と豊かな心を育てる」  
 [ 夢を実現する力、未来を切り拓く力、自ら学ぶ力、島だちできる力 ]

この目標の具現化に向け、保護者の皆様、地域の皆様のお力を借りながら、教育活動を充実させていきたいと思っております。新たな新型コロナウイルス株が心配されますが、できる範囲で対応しながら学校運営を進めて参ります。制約がある中でも知恵を出し合い、生徒にとってよりよい学校生活が送れるよう努めます。保護者の皆様と地域の皆様の学校への御理解と御支援を本年度もどうぞよろしくお願いいたします。